

までいにつないでピンポンラリー

今年、5回目を迎えた「思いやり・までいラリーピンポン大会」が飯館中学校体育館で行われました。

この大会は、村といたてスポーツクラブが、「までい」を広く理解してもらうことを目的に実施したもので、今年も飯館中学校卓球部の部員たちが、スタッフとして大会運営をサポートしました。

大会では、村内外から卓球愛好者など約130人が参加し、「相手といかに長くラリーを続けられるか」という村独自ルールで行う卓球を通して、相手が打ちやすいよう気を配りながら、「までい」にボールを打ち合っていました。



▲いかに相手が打ちやすい球にするのがポイントのまでいラリー

6/28 第5回思いやり・までいラリーピンポン大会



▲スリッパでのピンポンも

《大会結果》 部門ごと優勝者 (敬称略)

思いやりの部

夫婦の部 林 正好・愛子 (白石)
 親子の部 佐藤由紀・佐藤優菜 (大久保・外内)
 仲良しの部 木幡キクイ (草野)
 大久保ハツイ (宮内)
 その日仲良しの部 樋口トシ子 (福島市)

ふれあいの部

小学生 稲川遙希 (南相馬市)
 中学生 菅野結佳 (宮内)
 一般 林 正好 (白石)
 60歳以上 渡部かね (会津若松市)

早ね早おき朝ごはん運動推進本部共催事業



▲ラジオに合わせて「1.2.3！」

7/18 みんなでラジオ体操!

「思いやりの部」主催の「みんなでラジオ体操」がスポーツ公園陸上競技場で行われました。

この日は、参加した個人や団体など約120人がストレッチやラジオ体操で気持ちよく身体を動かしていました。体操後には、参加者に豆おにぎりと牛乳がふるまわれました。

同クラブでは、「ぜひ多くの村民に運動を通じた健康づくりに励んで欲しい」と運動の推進を呼びかけています。



▲接戦を繰り広げられたいいたてポッチャ大会



「第2回いいたてポッチャ大会」子どもも大人もみんなでプレー

村主催、いいたてスポーツクラブ共催の「第2回いいたてポッチャ大会」が、飯館中学校体育館で開催されました。

ポッチャは、子どもから高齢者・障がい者までが、同じルールで一緒に交流できるスポーツとして、パラリンピックの正式種目にもなっています。

大会には、村内外から20チームが参加。また、村体育指導委員やふくしまユニバーサルスポーツ研究会がスタッフとして大会運営をサポートしました。

今回、初参加のチームも、ルールに慣れてくると白熱し、予選リーグではどのコートも盛り上がり、子どもから大人までポッチャを通して交流を深めていました。

決勝トーナメントでは、8チームが接戦を繰り広げ、結果、村内から参加した「カメチーム」が優勝しました。

表彰式では団体戦の上



▲抜群のコントロールで、優勝したカメチーム



▲参加者最年少は3才! 「来年はボクが優勝するぞ〜」

位チームと個人部門でもそれぞれ賞が贈られたほか、参加者にミニ飯館牛丼、飯館野菜の引換券などが振る舞われました。

生涯学習課では「自治体で、ポッチャ大会を開いているのは全国でも飯館村だけ。子どもから大人まで楽しめるスポーツとして、一緒に村に広めていきましょう」と参加者に呼びかけていました。

大会結果《団体戦》

- 優勝 カメチーム
- 準優勝 身障福祉会佐藤チーム
- 3位 かわさとファミリーチーム
- 4位 飯樋町老人クラブチーム
- 5位 なかがわファミリーチーム
- 6位 根本ファミリーチーム



▲子どもも大人も友人もファミリーも、みんなで楽しめるポッチャ

ポッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青チームがそれぞれのカラーボールを6球ずつ投球し、いかに目標球に近づけるかを競うスポーツです。パラリンピックの正式種目です。